

【 解説 】

カタカナの平文とローマ字表記・暗号を並べて比較したものが下表。

平文	ベ	ネ	ズ	エ	ラ	リ	ト	ア	ニ	ア
ローマ字	Be	Ne	Zu	_e	Ra	Ri	To	_a	Ni	_a
暗号	D02	I14	M26	S00	U18	B18	J20	K00	Q14	U00

いつも注目するのは共通部分や連続部分。

ローマ字表記の子音部分（左側大文字）と暗号の数値が一致している。

Ne (I14) と Ni (Q14)

Ra (U18) と Ri (B18)

_e (S00) と _a (K00・U00)

他の数値も含めてまとめたものが下表（青文字は予想）。

子音（大文字）	_	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
数値	00		02												14				18		20
対応予想	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

アルファベット	U	V	W	X	Y	Z
数値						26
対応予想	21	22	23	24	25	26

暗号を 50 音表にあてはめると下表（カッコ付きは濁音）。

ローマ字表記の母音部分（右側小文字）を表すものは青文字であると予想される。

ラ	ヤ	マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	ア	母音	対応予想
U18								K00 U00	a	A F K P U Z
B18				Q14					i	B G L Q V
						(M26)			u	C H M R W
			(D02)	I14				S00	e	D I N S X
					J20				o	E J O T Y

問題の「コ ロ ン ビ ア」⇒「Ko Ro N Bi _a」

⇒「(E/J/O/T/Y) 11, (E/J/O/T/Y) 18, □, (B/G/L/Q/V) 02, (A/F/K/P/U/Z) 00」

当てはまるのは「E11, J18, □, Q02, U00」の 3 番。

全体を調べなくても、対応が予想された段階で 1 文字目の
ローマ字表記の「Ko」⇔ 暗号の「() 11」
が分かれば終了。

上記緑文字の「N」については、「N」⇔「Z00」の対応にちょっと引っかかる感じがあるが、
正解を得る過程に影響はない。